



スキマタイムズ

もっとお互いを理解するための場や時間を

 日本自立生活センター自立支援事業所 2017年9月27日発行 第78号

[スキマ★ナイト企画]

芋煮会



準備もみんなですすみます。

お手伝いできる方は 15 時に集まってね。

日時 10月23日 17時～
場所 松の間の前の駐車場
参加費 300円
当日参加OK

芋煮会 山形県地方で、戸外で催される宴会。
里芋・こんにやく・葱・牛肉を鍋で煮て食べる。(大辞林 第三版)

日本自立生活センター自立支援事業所 編集担当:岡山・橋口

TEL:075-682-7950 E-mail:jcil-kyoto@jcil.jp URL:<http://www.jcil.jp/zigyosho/index.html>

9月から職員が1名増えました。
さっそく紹介したいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。

職員自己紹介

- ① なまえ ② JCIL との関わりはいつから？
- ③ きっかけは？ ④ どんな仕事をしていますか？
- ⑤ A:大切にしていること B:これからしたいこと

- ① 相見 由憂菜 (あいみ ゆうな)
- ② 今年の4月から働き始めました。
- ③ 友人の紹介です。
- ④ 専門学校で介護福祉士の資格を取りました。
今は現場でヘルパーをしています。
- ⑤ 高齢者介護の経験も活かしながら、ここでは、皆さんとの出会いを通して、いろんなことに挑戦し、たくさんの経験をしたいです！



居場所づくり勉強会 第48弾 (8月22日開催) 報告

「人工呼吸器は終末期か？」に参加して

橋口昌治

勉強会では、京都市の配布しているリーフレット「就活—人生の終末期に向けての備え」が、「終末期を迎えたとき、人工呼吸器や人工栄養法による延命治療を希望しますか？」と尋ね、「もしものとき」に受けたい医療の内容を書いた「事前指示書」を準備するように勧めていることの問題点を扱いました。

そのリーフレットは遺言の作成も一緒に勧めているので、「確かに何かあったときに周りが困らないように…」という気にさせられてしまいます。一方、終末期や延命のためではなく、日常生活を送るために人工呼吸器や人工栄養法（胃ろう）を利用している人のことは頭にないようです。逆に、人工呼吸器などの利用者が「延命という不自然なことをしている人たちだ」という印象を持たせる効果すらありそうだ、といったことをみんなで話しました。

このような懸念は大げさなものではありません。実際、京都市がリーフレットを配布し始めた頃、経済産業省の若手エリートたちが発表した「不安な個人、立ちすくむ国家—モデル無き時代をどう前向きに生き抜くか」というレポートで「健康で長生きしたあとで人生最後の1ヶ月に、莫大な費用をかけてありとあらゆる延命治療が行われる現在。どんな人生の最期を迎えたいですか？「終末期の自分」を、選択できていますか？」と問いかけ、胃ろうによって「延命」している人の数を減らし医療費を削減することが、「財政難」に陥る日本で、若い世代を支援する予算を確保する有効な手段だと書いているのです。

勉強会で「周りの人のためではなく、もっと別のところからの圧力があるのではないか」という意見が出されました。私は経産省のレポートにあるような国の考えがリーフレットの背景にあると感じました。日本が財政難に陥っているのは、法人税や所得税の税率が下げられてきたことが原因なのに、それには触れられず、「財政難」を理由に、生きることをあきらめる人が出てくることは問題です。京都市は、リーフレットに問題はなく、配布中止や回収はしないと断言しているようですが、命をおびやかす内容のものが「良いこと」であるかのように人々に配られることは問題であり、そのことを学べた勉強会でした。

東九条と崇仁のいま・むかし

10月14日(土)

14:30-17:00

14時開場 (参加費無料)

京都市地域・多文化交流ネットワークセンター



山本崇記
(静岡大学准教授)



矢吹文敏



金順喜

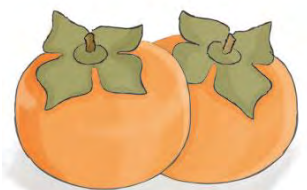
東九条とお隣の崇仁は、在日や部落の人々が多く暮らしてきた地域です。JCIL が東九条に移ってきた1990年代以降、この地域の方々とつながりながら、障害者も大勢暮らすようになりました。今回の勉強会では、JCILの事務所があり、みなさんが暮らししたり働いたりしている東九条と崇仁の歴史と現在について、学びたいと思います。

場所 は「松の間」 いずれも一七時から 参加費三〇〇円 (一六日は五〇〇円)	どなたでも参加できます。	三〇日 (月)	広島焼
		一六日 (月)	焼肉
		五日 (木)	焼き込みご飯
		みそ汁	
		小松食堂	一〇月の献立

こころとからだをすっきり！ヨガタイム

ヨガで自分の身体と向き合ってみませんか？ヨガの目的はきれいなポーズをとることはありません。その日の身体がどんなふう動くか動かないか、意識を自分に向ける時間です。呼吸が深くなり、肩こり、腰痛、疲労感もやわらぎます。もちろん腰痛予防にもいいですよ！ぜひ参加してみてください♪ 講師は石田久美さんです。

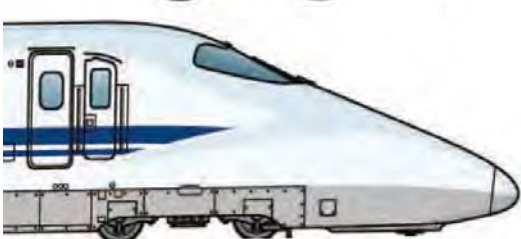
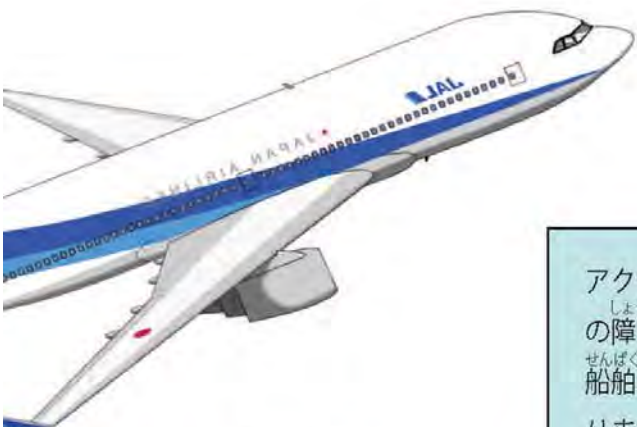
- ★ヨ ガ：全身をうごかすヨガ
- 日 時：10月30日(月)
17:00-18:15 (OPEN16:45)
- 場 所：油小路事務所2F
- 持ち物：動きやすい服装・タオル・飲み物
- 参加費：無料



*このヨガクラスは、JCIL自立支援事業所の利用者と家族・介助者を対象にしています。

だい かい
第6回

アクセス関西ネットワーク集会 in 京都



アクセス関西ネットワークは、各地のバリアフリーを進めている関西の障害当事者を中心に結成されました。電車、バス、歩道、公園、飛行機、船舶、障害者がまちに出て移動するためにはまだまだバリアが沢山あります。私たちは、アクセス行動の日である10月10日に毎年集会を開催し、交通アクセスに関する講演、各地のとりくみの報告などを行っています。6回目となる今年の集会の舞台は京都、テーマは「航空・世界の交通アクセス」です。海外の経験が豊富な方々を講師にむかえます。ぜひご参加ください。

■ 講師

大橋グレース愛喜恵さん
自立生活夢宙センター



山名勝さん
アクセス関西ネットワーク運営委員
空港へ飛行機搭乗の海外事例



藤原勝也さん
メインストリーム協会



関西各地のとりくみの報告

■ 日時：2017年10月10日(火) 13:30~

■ 場所：ひと・まち交流館京都 2階 大会議室

市バス4, 17, 205号系統「河原町正面」下車
京阪電車「清水五条」下車 徒歩8分
地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩10分

■ 参加費：500円

参加申し込みは裏面参照
申し込み締め切り 9月20日

※手話・点字・要約筆記が必要な場合は必ず事前に申しこんでください



主催 アクセス関西ネットワーク

大阪市天王寺区生玉前町5-33 障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議気付
TEL:06-6779-8126 FAX:06-6779-8109 mail:nakamura500@e-mail.jp